

PDF

■ Q 1 3. 神戸の川には何種類くらいの魚がすんでいるの？

■ A 1 3.

神戸の川や池には、1985年頃の調査では37種類の淡水魚を確認することができました。（「[神戸の淡水魚](#)」参照）その後、六甲山の近くでナガレホトケドジョウ、北区、須磨区、西区でカワバタモロコが発見され、39種類に増えています。

この中には、[環境省レッドリストの絶滅危惧種](#)に指定されている種、アカザやメダカ、オヤニラミのほか、近年発見されたナガレホトケドジョウやカワバタモロコの5種も含まれています。

また、日本各地で問題となっている外来魚のオクチバスやブルーギルは、神戸の池はもちろん川にも広がっています。西区の川では、小さなたまり場でも、網を入れるとたくさんのブルーギルとオクチバスの若魚がとれます。その影響もあってか、モロコやタナゴなどの在来の魚が近年あまりとれなくなりました。



| [淡水魚Q&Aのメニューにもどる](#) |

デジタル化 神戸の自然シリーズ 20 神戸の淡水魚 メニューへ